

高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT

10月2（日）Vol.6 Leg3（GOAL）Part.3

2005/10/02 vol.6

ラリー最終日。高山短大の2台のラリーカーは、大きなトラブルなく無事に完走した。10年連続の世界ラリーの完走。高山短期大学はひとつの大きな歴史を刻んだ。

1号車 №103 遠藤・加納組 総合33位
2号車 №93 ジム・草加組 総合27位。いずれも暫定
エントリー90台、出走90台、完走63台

ラリー開催期間中はもとより、開催前から「応援メッセージ」をいただいた皆さん、今回のラリー参戦に対してご協賛いただいた後援会社をはじめとする各社様、北海道まで応援に駆けつけてくれたOB,OG。そしてラリーを見守ってくださったすべての方々に感謝いたします。

4月からの長い練習期間、夏休みを返上しての合宿。苦しいキツイ時間があった初めて味わえる瞬間だと思います。彼らの、そして彼らを支えるすべての方々の思いが完走へと導いたのだと思います。



10月2（日）Vol.5 Leg3（GOAL）Part.2

2005/10/02 vol.5





10月2（日） Vol.4 Leg 3（GOAL） Part.1

2005/10/02 vol.4

2005年WRC第13戦、グロンホルム（プジョー）の優勝でレースの幕を閉じた。（写真左）
以下2位 ローブ（シトロエン） 3位 アトキンソン（スバル）



10月2（日） Vol.3 Leg 3（昼30分サービス）

2005/10/02 vol.3

2005ラリーJAPAN最後のサービス。2台ともSS23（全SS26）まで大きなトラブルもなく無事に走り続けてきた。すでにリタイアしたマシンも多い。しかし気は緩められない。サービスあとのSS25で、ずっと首位をキープしていた、ペタ・ソルベルグがなんとリタイアしたとの情報が入る。ラリーは最後の最後まで何が起ころかわからない。



10月2（日） Vol.2 Leg 3（早朝10分サービス） Part.2

2005/10/02 vol.2

今日のサービスはこのサービスを入れて3回。3回目のサービスはレース終了後の洗車のみになる。

よって実質あと2回のサービスですべて終了する。
サービス中は必ず検査員がチェックに来て、目を光らせている。
ドライバーとの最終確認をするリーダー。必ず完走してポディウムに上られるよう学生らは作業後もミーティングをし、今の作業の「復習」と次の作業への「予習」を怠らない。



高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT 

10月2（日） Vol.1 Leg3（早朝10分サービス） Part.1

2005/10/02 vol.1

いよいよ最終日。Last leg。今朝の10分サービスは昨夜の45分サービスのチェック。
監督の「絶対完走させるぞ」の一声に学生たちは最後の気を引き締めた。



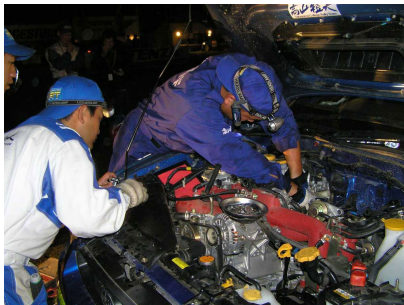
10月1（土） Vol.7 Leg2（夜の45分サービス）

2005/10/01 vol.7

1号車に出力が上がらないとの情報が入る。原因はキャタライザー（触媒）への土砂混入によるアンチラグシステムの故障。触媒の交換がこのサービスの主な作業となる。

Leg.2（SS21）を終え、1号車（遠藤・加納組）39位、2号車（ジム・草加組）32位





10月1（土） Vol.6 オーストラリアスタッフの心遣い

2005/10/01 vol.6

今回ドライバーとして参戦しているジム婦人、メカニックのアラン夫妻の心遣いで、夕食にバーガーを作ってもらった。昨年まではオーストラリアラリーでもいろいろと食事の準備をしてもらった。緊張が続くラリーの最中において、夕食はひと時の安らぐ時間だ。



10月1（土） Vol.5 富士重工業社長 来訪

2005/10/01 vol.5

なんと、富士重工業の社長が本学サービスエリアを来訪された。「がんばってください」と陣中見舞いのお言葉をいただいた。



10月1（土） Vol.4 Leg2（30分サービス） Part.2

2005/10/01 vol.4

パーツ管理をする学生メカニックは、要求されたパーツを迅速に提供するため、常に作業を見守っている。非常事態には極めて重責ある任務である。

午前のSS14を終えて1号車：41位、2号車：37位。



MENU: BACK TOP NEXT 

- [Topics Board](#) -

高山短期大学ラリージャパン参戦情報

- ・高山短期大学はOBチームでラリージャパンに参戦中です。
- ・現地、北海道帯広市から参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: [BACK](#) [TOP](#) [NEXT](#) 

本番前の緊張

2004/09/03 (金)

近づく本番サービスを前に息のあったトレーニングをするOB,OG。最終打ち合わせにも表情は真剣。



本番前のひととき

2004/09/03 (金)

サービスパークの準備も整い、ほっと一息。



北愛国サービスパーク準備

2004/09/03(金)

レース初日。天候晴れ。さわやかな一日のスタートである。スバルラリーチームジャパンのメカニックとして参加している卒業生2名（95年卒、瀬川君、96年卒、広瀬君）が陣中見舞いに。写真左から坂井（本学教員：チームマネージャー）、逸見（本学教員：チーム監督）、上杉（スバルラリーチームジャパン監督）、広瀬（北陸スバル）、瀬川（神奈川スバル）。今日最初のサービスに向けて、パークの設営準備。OB,OGの勝手知ったる動きで、手際よくラリーカーを受け入れる体制が整っていく。



前夜祭セレモニー

2004/09/02(木)

大観衆で埋め尽くされた帯広市西二条通りでの前夜祭セレモニー。引退したマキネンがゼロカーで登場し、ギャラリーは大喝采。その後エントリー車が続々とスタートランプに入場。本学インプレッサは20番目に登場した。



ゼッケン№92。遠藤・加納コンビ

2004/09/02(木)

ドライバーはおなじみ、遠藤道康氏（本学卒業生）、コ・ドライバーは加納靖之氏。昨年のラリーオーストラリアで初めて組んで完走した。今回は地元日本。更なる飛躍に期待が持てる。ガンバレニッポン。ガンバレ高山短大。



メカニックは卒業生！

2004/09/02(木)

RALLY JAPANは、WRCへ参戦した本学のOB，OGのメカニック隊で構成。懐かしいメンバーが揃って、北海道の大地を走るインプレッサとの格闘が始まる。メカニックのメンバーは以下の11名だ。
99年参戦（岡村さやか）、01年参戦（石原圭、杉山文朗、津川欣太、山越一樹、大橋智樹）、02年参戦（橋本若誠、池谷紀彦、桜井良太、多田明展、千田裕）



ワークショップにて

2004/09/02（木）

細野農場の農業倉庫を本学のワークショップとして借用。WRCサービスパークへも歩いて2ー3分と利便な場所。オーナーは広大な農場を持つ。北海道はでっかいぞー。。。。。



現地情報のページを開設しました

2004/08/31

高山短期大学はこのたびのラリージャパンに、卒業生からなるチームで参戦します。エントリー名は「高山短期大学」。

参戦中の様子を現地北海道よりお知らせします。9月2日より情報を掲載する予定です。

MENU: [BACK](#) [TOP](#) [NEXT](#) 

- [Topics Board](#) -

高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT



9月30（金）Vol.2 Leg.1（最初のサービス）

2005/09/30 vol.2

午前のSS1～SS4を終えたラリーカーがサービスパークへ戻ってきた。いよいよ世界の舞台での最初のサービスが始まる。サービス時間は30分。

本学のサービスが始まる前からワークスチームを初め、大勢の観衆に取り囲まれた。昨年までのオーストラリアラリーでも大観衆を集め、いわばWRCの人気チームになっている。

最初のサービスの主な内容は、1号車がプレーキ時の異音チェック、2号車が四輪のホイールアライメントチェックと前車の飛び石によるフロントガラス修理である。

SS4を終え、1号車（遠藤・加納組）47位、2号車（ジム・草加組）45位。



9月30（金）Vol.1 ラリー初日Leg.1（スタート）

2005/09/30 vol.1

いよいよ待ちに待ったラリーのスタートだ。学生メカニックは早朝5時にサービスパークへ。

昨日の2号車の不具合は本学の教員スタッフとSTIエンジニアで対応したが、なんと深夜2時30近くにまで作業が及んだ。しかし結局はコンピュータユニットの故障と診断。STIより交換品を借用して何とかスタートに間に合わせた。

スタート前の最終チェックを終え、逸見監督のゲキの後、円陣を組んだ学生たちは、チームリーダー坂田君の発声でスタート前の気合を入れた。

1号車：7時15分、2号車：7時10分 いよいよスタート。学生達は恒例になった「いってらっしゃー」の掛け声で2台を見送った。

今回のJapanラリーエントリーは90台、出走90台である。



9月29（木） Vol.3 セレモニアルスタート

2005/09/29 vol.3

ラリーJapan 2年目のスタートの火蓋が切って落とされた。昨年同様、帯広駅前の車道でのセレモニアルスタートだ。先ほどの不具合が気になる場所であったが、走行に支障はなくセレモニアルスタートは無事問題なく終了。



9月29（木） Vol.2 スタート前に2台ともトラブル！

2005/09/29 vol.2

撮影を終え、何回かのテスト走行（市内を軽く走る程度）によりドライバーはマシンの仕上がり具合とフィーリングを確認。しかし夕方になり2台ともに異常が発生。1号車はラジエターのロー側から冷却水の漏れを確認。また2号車はエンジンチェックランプが点灯しエンジン不調に。コンピュータをパソコンで診断しカムセンサー及びクランク角センサー部あたりの不具合と推測。今晚のセレモニアルスタート程度の走行には支障はないと思われるが、セレモニー終了後も、STIエンジニア（本学卒業生 土岐文二さん）の力も借りて修理にあたっている。現在時刻23時50分。未だに修理が完了していない。あすは5時スタートというのに果たして修理は完了するのか？ここに来て大変な事態になった。



9月29（木） Vol.1 ラリーカーを前に記念撮影

2005/09/29 Vol.1

快晴。絶好の撮影日和。学生メカニックが北海道に入ってまだ雨の日がない。日ごろの心がけがいかに良いか。仕上がったラリーカーを前に全員で記念撮影。
1号車 ゼッケン№ 103 ドライバー：遠藤道康 コ・ドライバー：加納靖之
2号車 ゼッケン№ 93 ドライバー：Jim Marden コ・ドライバー：草加浩平



高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT



9月28（水） Vol.6 今回参戦メカニックの紹介 part. 8

2005/09/28 vol.6

【写真左】

1. 國廣 友彰 愛知県 小牧工業高等学校
2. 右リア担当
3. 2台とも完走
4. 睡眠時間が不足
5. 自分を知っている人へ「ラリーに行って変わったな」と言わせます。
6. ケガ人をださない。安全に、楽しく。
7. 右リアタイヤ（右リアを支えるスポットだから）

【写真中央】

1. 小出 幹彦 愛知県 小牧工業高等学校
2. フロントジャッキ（エンジンルーム）
3. なんとかしても完走させたい。
4. 練習は辛いけど、そう感じられなくなった。
5. 友人にひとまわりでっかくなってきてやるぜ。
6. 体調管理。
7. セルフロックナット（クルマのあらゆるところに使われている）いろんなところに役にたつ。

【写真右】

1. 渡部 博也 愛媛県 松山商業
2. リアジャッキ
3. 期待を裏切らないようにする。
4. 合宿での小金先生の一言「過去十年間で最低のチーム」と言われたこと。
5. 親 ありがとうございます。
6. 絶対作業ミスのないこと
7. L S D 左右の差をなくして和を生み出すから



9月28（水） Vol.5 今回参戦メカニックの紹介 part. 7

2005/09/28 vol.5

【写真左】

1. 山田 富郎 山口県 大嶺高等学校
2. パーツ担当
3. 笑顔（笑顔でパーツを渡します）
4. 夏の合宿（夜練習）肉体的にも、精神的にも辛かった。
5. 友人 絶対に完成させてやるから。応援よろしく。
6. 安全第一。誰もケガをさせないこと。
7. トランク 困ったときは工具とパーツが入っているぞ

【写真中央】

1. 結城 彩 滋賀県 栗東高等学校
2. サポート
3. 完走するために自分にできることは何でもする。
4. 気持ちと体がバラバラになったとき。
5. 親と友人にいつも応援ありがとう。がんばってきます。
6. 体調
7. アンダーガード等（ガード類）みんながスムーズに作業できるようサポートしたい。

【写真右】

1. 池田 昭博 石川県 翠星高等学校
2. チームリーダー
3. 頭は常に冷静に、心は常に温かく
4. 合宿での練習
5. 友人へ やっと君に追いついたかな。ジャンルは違うけどもう少しで追い越すから。
6. 集中力と忍耐力。体調管理。
7. ロールゲージ 目立たないけど命を守る大切な部品。



9月28（水） Vol.4 今回参戦メカニックの紹介 part. 6

2005/09/28 vol.4

【写真左】

1. 奥田 成俊 岐阜県 岐阜商業高等学校
2. 右リア
3. 絶対完走
4. 夏の合宿
5. 親へがんばってきます
6. 責任を持って信頼されるサービスをする。チームワークを大切に
7. 右リアタイヤ 車を支える土台のひとつ。自分もチームの土台としてサ-ビスしたい

【写真中央】

1. 上条 貴昭 長野県 松本工業高等学校

2. 1号車左フロント
3. 残り少ない日を必死に練習するのみ
4. 夏の合宿
5. (自分を支えてくれた人たちに) ありがとう
6. ビス一本で大事故につながる。ビス一本一本に気持ちを込めて。
7. ブレーキパッド 自分をすり減らしても人の役にたちたい

【写真右】

1. 亀田 宏明 香川県 香川中央高等学校
2. 2号車サポート
3. 中3からの夢が叶う時がきた。全力でがんばるぞ。
4. 夏の合宿前に体調をくずしたこと。
5. ささえてくれた人たちへ 両親、友人、寮のおばさん・・・感謝しております。がんばってきます。
6. 安全第一。そして楽しんでくる。
7. ワイパー 必要とされるときに存分に力をだす



9月28(水) Vol.3 今回参戦メカニックの紹介 part. 5

2005/09/28 vol.3

昨日に引き続き、学生メカニックを紹介します。今日は残り12名です。

【写真左】

1. 市野 晋也 三重県 鈴鹿高等学校
2. 1号車右フロント足回り
3. 必ず完走するぞ
4. 夏の合宿(早朝から夜中までの練習で寝不足に)
5. ドライバーに 全員で完走めざして頑張りましょう
6. あわてないこと。冷静に確実に作業する。
7. スペアタイヤ あることにより安心感を与える

【写真中央】

1. 石田 聡 兵庫県 篠山産業高等学校
2. 2号車左リア
3. 自分の能力を120%出す。チーム全員で完走を目指す。
4. ポジションを変更させられたとき
5. 本田君へ 君の分も頑張って完走してきます。
6. 集中しすぎてまわりが見えなくならないように。
7. 左リアタイヤ 動かされているパーツだが、ないと車は動かない。

【写真中右】

1. 大奥 健祐 香川県 八洲学園国際高等学校
2. リアジャッキ

- 3. 絶対完走してゴールランプにあがるぞ。
- 4. 寝不足（睡眠時間が減った）
- 5. 親へ迷惑ばかりかけました。北海道では大きく成長します。
- 6. ケガをしないこと
- 7. ホイールナット。地味だけど非常に重要な箇所。



9月28（水） Vol.2 車検

2005/09/28 vol.2

本番前の最大の難関、公式車検。この日のために学生達はラリーカー2台を仕上げてきた。しかし次の3点の指摘があり、再車検を命じられた。1. ライトポッドの配線不具合 2. ドライビングシューズの交換 3. 消火器の圧力低下 車検後、早速ライトポッドの配線修理等の作業を行った。再車検の結果は2台とも合格。まずは第一関門クリアである。



高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT



9月28（水） Vol.1 レッキカー修理、サービスパーク開設準備

2005/09/28 vol.1

昨日午前中、陸別地区のコースで右後部バンパーを破損したレッキカーの修理を行う。ポートパワーにより陥没部分を修正し見事に修復された。レッキは2日目。修理しピカピカになった車で午後からのレッキに向かった。レッキカー修理の後、北愛国に設けられたサービスパークの開設作業。高山短期大学は10×20メートルのエリアにテントの設営など、ラリーカーをサービスする準備を行った。



9月27（火） Vol.6 今回参戦メカニックの紹介 part. 4

2005/09/27 vol.6

【写真左】

1. 松田 裕二郎 石川県（金沢市立）工業高等学校
2. サポート
3. 2台とも完走させてゴールランプにあがるぞ
4. 同じ失敗を繰り返してポジションを変えられたこと
5. お世話になったひとへ一生懸命がんばります。応援よろしく
6. 故障箇所、不具合を即座にみつけること
7. タイヤ タイヤはエンジンからの動力をいろんな部品を介して伝えられて始めて回る。みなのおかげがあって自分がかんばっているから。

【写真中央】

1. 山口 大樹 鹿児島県 鹿児島工業高等学校
2. パーツ担当
3. 精一杯ラリーを楽しみたい。
4. 担当を替えられたこと。自分の力量不足を痛感したとき。
5. 親へいろいろケンカもしたけど最後にはラリー参戦を応援してくれてありがとう。
6. チームの雰囲気（チームがいい状態であればおのずといいサービスになる）
7. フューエルポンプ エンジン（チームのみんな）に燃料（パーツ）を供給します。

【写真右】

1. 安澤 純司 神奈川県 大和東高等学校
2. パーツ担当
3. 気合
4. 自分の作業が時間内に終わらないこと
- 5.
6. 体調管理
7. ロールゲージ ドライバーが安全かつ安心して乗られるようにする



9月27（火） Vol.5 今回参戦メカニックの紹介 part. 3

2005/09/27 vol.5

【写真左】

1. 伊藤 陽介 新潟県 糸魚川高等学校
2. 1号車サポート
3. ベストを尽くす！
4. 自分の無力さに気付かされたとき
5. 親にいろいろサポートしてもらい感謝しています。人生の糧となるようがんばってきます。
6. 緊張しない。体調管理。
7. 灰皿 喫煙ドライバーにとってリラックスできる喫煙。みんなをリラックスさせる役割としてがんばりたい。

【写真中央】

1. 大賀 裕介 三重県 松阪高等学校
- 2.
3. チーム全員で完走する
4. バイトとの両立が大変だった。参戦できなかった仲間がいたこと
5. 親へ 大学に進学させてもらい、こんな機会も与えてもらいました。とても感謝しています。
6. ドライバーに不安を持たせないようなサービスをする。
7. タイヤ 4輪あつてはじめて車が走る。みなで力をあわせることの大切さを痛感している。

【写真右】

1. 熊谷 豪 宮城県 東北学院高等学校
2. 2号車左フロント
3. 絶対完走
4. 自分の甘さ、レベルの低さを思い知らされたとき。
5. 友人へ 本田君の分も頑張って完走させるぞ。
6. 体調管理、安全な作業、ドライバー、コドライバーに対する配慮
7. ロールゲージ 自分はチームの強度を高めるパーツのひとつだと思う



9月27（火） Vol.4 今回参戦メカニックの紹介 part. 2

2005/09/27 vol.4

【写真左】

1. 梁川 拓視 長野県 上田千曲高等学校
2. エンジンルーム担当
3. チーム全員の力で絶対完走
4. メンバー発表
5. 本田君にがんばってきます
6. チームがばらばらにならないように
7. インタークーラー

【写真中央】

1. 安間 崇允 静岡県 掛川工業高等学校
2. パーツ担当
3. 不安けどウキウキしています。
4. いろんなことがわからなくなってしまったこと
5. 本田君 本田君の分まで一生懸命頑張ります。
6. チーム全体の雰囲気
7. コンピュータ パーツ担当（自分たち）が機能しないとチーム全体が機能しなくなるから

【写真右】

1. 佐々木 岳 大阪府 四条畷高等学校
2. 1号車左リア
3. 安全・確実・迅速
4. ない
5. 自分に関わった人へ 夢追いも、叶えてこそ意味がある。
6. ドライバーに不安を与えない。
7. ヘッドライト 常に前向きに、そして周りを明るくして生きたい





9月27（火） Vol.3 今回参戦メカニックの紹介 part. 1

2005/09/27 vol.3

遅くなりました。お待たせいたしました。今回ラリージャパンには学生メカニックとして24名（うち女性1名）が参戦しております。みなさんに本戦前の生の声をお届けしたいと思います。今回7つの質問に答えてもらいました。それぞれの決意表明（?）をお伝えします。質問内容は、

1. 氏名・出身県・出身高校等
2. ラリーでの担当
3. 今の意気込みを?
4. 練習で辛かった、苦しかったこと
5. 親、友人へのメッセージ（誰に、どんなメッセージ）
6. 気をつけたいこと
7. 自分をラリー車に例えるどのパーツです。

【写真左】

1. 坂田 元憲 愛知県 安城高等学校
2. 総リーダー
3. 不安だけど「やるしかない」
4. 夏の合宿
5. 恋人（清香）いつも支えてくれてありがとう
6. チーム全員の安全・体調を考えベストを尽くすこと。
7. ボディー（シャシフレーム）エンジンや足回り等すべてのパーツを支える、総リーダーとしての役割

【写真中央】

1. 小林 孝之 神奈川県 同朋高等学校
2. 1号車リーダー
3. やるぜ～!
4. 睡眠時間2時間の日が5日続いたこと。
5. 親へ 経済的な援助ありがとう
6. 舞い上がらないよう、冷静に
7. ホーン 声のボリュームなら負けません。

【写真右】

1. 倉田 慧 三重県 津西高等学校
2. 2号車リーダー
3. 絶対完走
4. かつてないほど腰が痛くなった
5. 親へ いろいろとご迷惑をかけます
6. テンパらない
7. 冷却水 メンバーの興奮を冷まさせながら冷静に指示する





MENU : BACK TOP NEXT 

- [Topics Board](#) -

高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT 

9月27（火） Vol.2 本番車2台の整備

2005/09/27 vol.2

昨日受付を済ませたラリー車2台は明日の公式車検のための整備を行う。メインはステッカーの貼付。ラリー車2台とパートトラックに丁寧に貼っていった。
またドライバースーツにネームを縫いつける作業も・・・。



9月27（火） Vol.1 レッキ一日目（ハプニング）

2005/09/27 vol.1

レッキ一日目。朝5時半にホテルをスタートし、陸別方面へ移動。レッキ車の整備として学生4人も後から追走した。陸別地区のコースで、コーナーでスライド、コースアウトし段差に落ちた遠藤・加納組の車は右後部バンパーを強打・破損した。明日午前中に時間があれば修理する予定である。自走に問題はない。





9月26（月） Vol.2 レッキ車の仕上げ（2）

2005/09/26 vol.2

ドライバーやコ・ドライバーの要望にあわせて迅速に必要なパーツを調達する。本番になったらさらなる迅速さと正確さが要求される。パーツ管理の任務はきわめて重要になる。



9月26（月） Vol.1 レッキ車の仕上げ（1）

2005/09/26 vol.1

今日の作業は、明日から始まるレッキのための車両を仕上げること。ドライバー（ジム）の要望を聞くことも重要な作業のひとつだ。学生達は自分の持ち場以外にも気を遣い、休む間も惜しんで作業を続けた。





9月25日（日） Vol.3 ワークショップでのひととき

2005/09/25 vol.3

北海道初日のランチは「ピザ」。今日の最高気温は18～20度と肌寒い一日であったが学生達は汗まみれ、ほこりまみれ。作業を終え少し遅いランチに思わず笑みが・・・。
今回のドライバーのひとりである「ジム」氏と元専属メカニックである「アレン・アダムス」氏は昨年まで参戦していたオーストラリアラリーにも本学のチームスタッフとして活躍していただいた。そして今年も、ここ帯広に……。おみやげとしていただいたコアラを胸に昨年のオーストラリア以上の成績を目標に「がんばるぞ！」



高山短期大学WRC参戦情報

2005.9/29～10/2

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・レポートは新しいものから古い順に表示されます。
- ・応援メッセージ掲示板は[こちら](#)

MENU: BACK TOP NEXT 

9月25日（日） Vol.2 ワークショップでの作業開始

2005/09/25 vol.2

今日のメニューは、パーツの整理、トラック輸送してきたレッキ車2台、本番車2台の調整である。また本番車2台にライトポッドを取り付ける作業も行った。



9月25日（日） Vol.1 学生メカニックいよいよ始動

2005/09/25 vol.1

待ちに待ったWRC世界ラリー。昨夕北海道入りした学生達は「ワークショップ」としてラリー期間中お世話になる「細野農場」宅へ。ここは昨年もワークショップとしてお借りした場所である。逸見監督の「世界ラリー実習」授業の開始のことばに、学生達は新たな緊張感に包まれた。





9月20日（火） 壮行会

2005/09/20

2005 Rally JAPANがいよいよ始まる。学生メカニックたちは24日朝、北海道に向けて出発する。今日はそのための「壮行会」を行った。

次回の掲載は9月25日からとなります。どうぞご覧ください。また応援メッセージもいただけたら幸いです。



準備中

2005/09/14

今年もラリー期間中、現地から情報を更新します。